

ヨーロッパザラボヤ関係調査結果

※北海道ほたて漁業振興協会からの受託研究で実施

道総研中央水産試験場

◎ヨーロッパザラボヤ浮遊幼生調査

10月7日に祝津ホタテ養殖漁場のホタテ部会の試験用桁で、表層から水深30mの浮遊幼生調査を行いました。調査の結果、ザラボヤの浮遊幼生は確認されませんでした（表1）。しかし、5月12日に垂下した試験籠への付着状況では 133 個体と非常に多くの付着を確認しました（図1）。付着サイズは平均30.5mm（最大64.7mm、最小15.4mm）でした。先月は平均30.2mm（最大47.0mm、最小16.1mm）だったことから、先月よりも大型の個体が見られた一方で、小型の個体の割合が高いために平均はほとんど変わりませんでした。このことから、籠への新規の付着があったものと考えられます。しかし、ザラボヤ付着器では新規の付着を確認できませんでした（表2）。

表1：ヨーロッパザラボヤ浮遊幼生調査結果

場所	水深	水温 【℃】	クロロフィル 【μg/L】	ザラボヤ	
				個	個/トッ
ホタテ部会の調査桁	0~30m	機器不調	機器不調	0	0

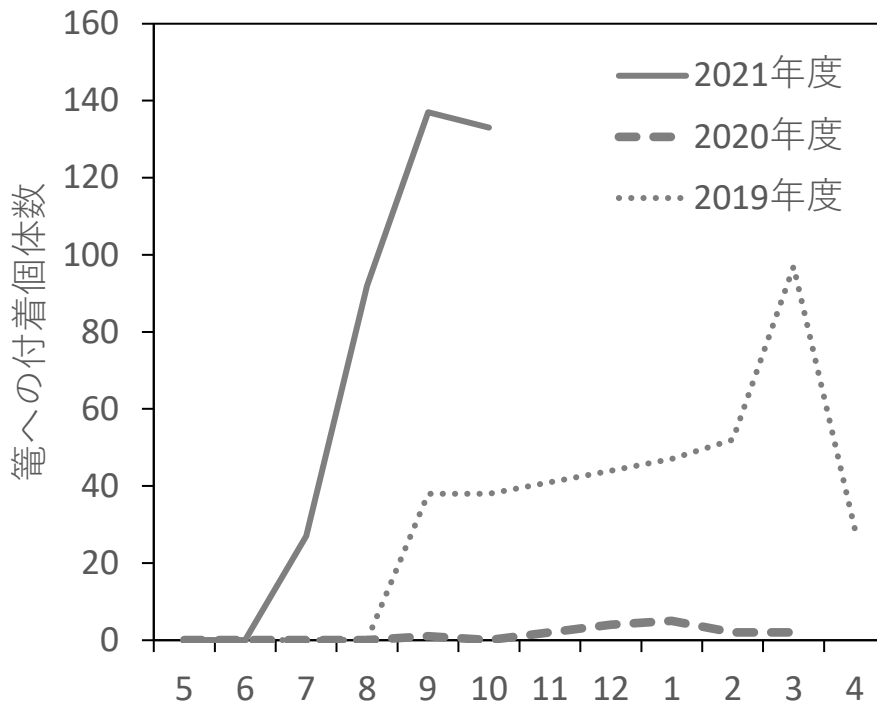


図1：籠へのヨーロッパザラボヤの付着数の変化

表2：ザラボヤ付着器への付着数

設置	回収	付着数
5月12日	7月14日	21
6月16日	8月6日	0
7月14日	9月15日	1
8月6日	10月7日	0

◎ヨーロッパザラボヤ調査は今後継続して実施します（次回調査：11月中旬に実施予定）。

※調査結果は中央水産試験場HPからも確認できます。

<https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/zoushoku/tkh4vd000002m9a.html>